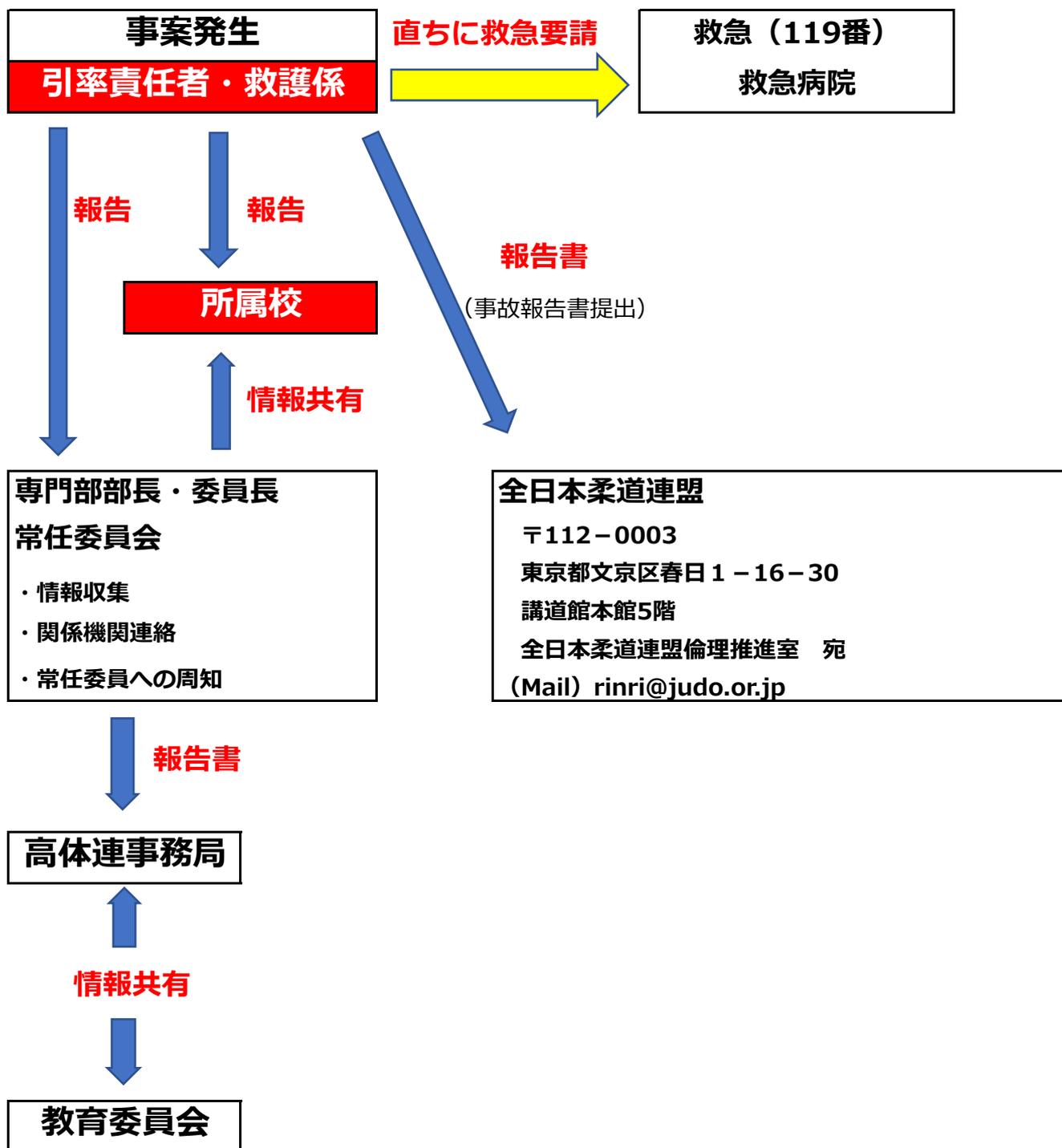
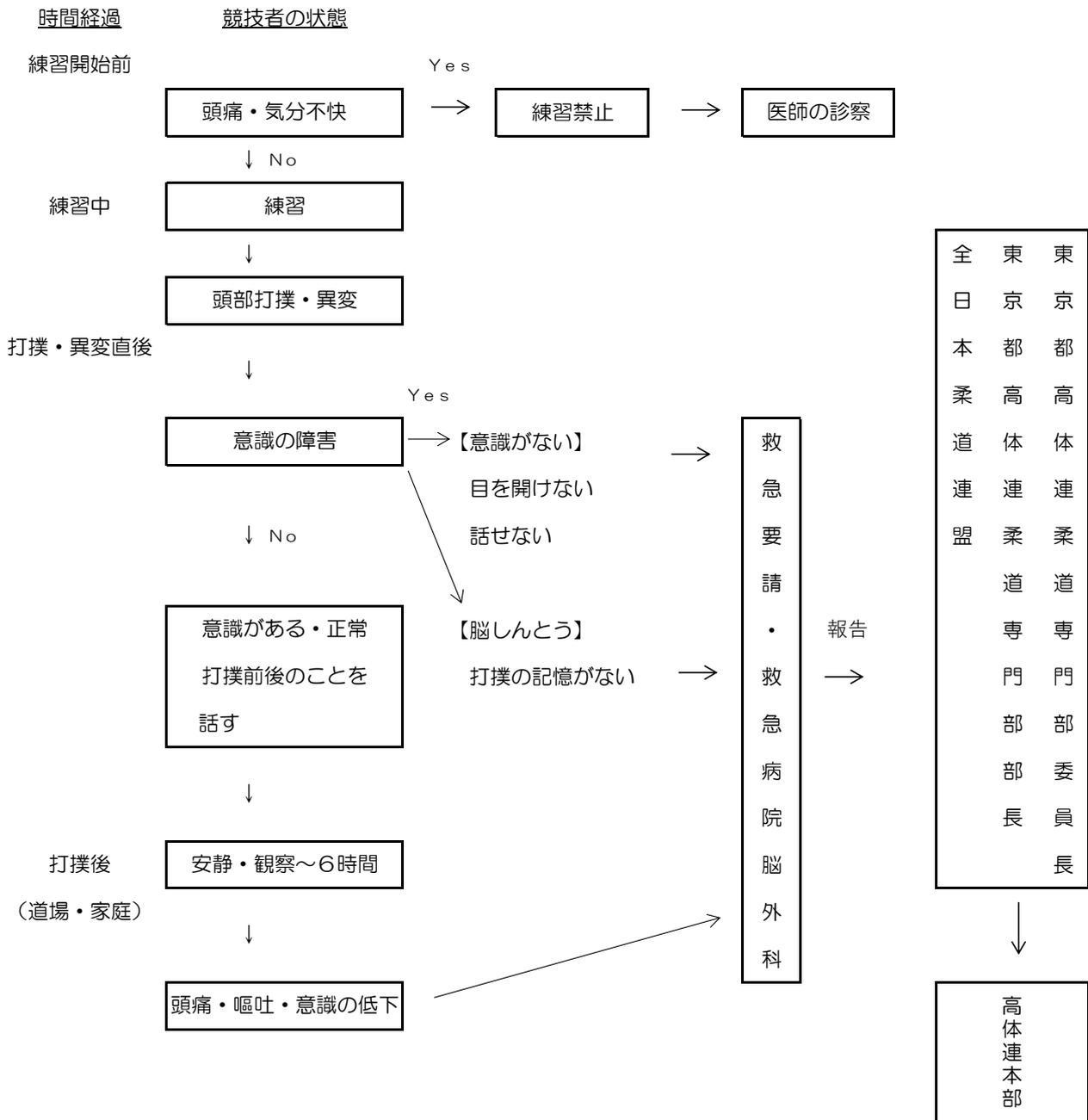


重大事故発生時における連絡体制

*大会開催中および部活動中（練習時）に発生した場合



柔道競技中の頭部外傷・頸椎損傷時における対応



事 故 報 告 書 (取扱注意)

頭部外傷・脳しんとう・頸部外傷・熱中症・その他緊急入院を要した事故
(いずれかに○をつけてください)

事故発生時の状況を下記のとおり報告します。

<p>1. 受傷者 (発生時)</p>	<p>①氏名 (ふりがな) 性別： () 男 ・ 女</p> <p>②生年月日：西暦 年 月 日 (満 歳 か月)</p> <p>③身長・体重： cm ・ kg</p> <p>④現住所：(〒 —) Tel — —</p> <p>⑤所属 (学校・学年、勤務先、クラブ名など)：</p> <p>⑥全柔連登録のメンバーID (9桁)： <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> </p> <p>⑦柔道の経験年数： 年 か月</p> <p>⑧段位： 段 ・ 無</p>									
<p>2. 発生日時</p>	<p>年 月 日 () 午前 ・ 午後 時 分ころ 気温： ℃ 熱中症の場合：WBGT 値 ℃</p>									
<p>3. 発生場所 (③から⑥は、 該当に○印)</p>	<p>①施設名：</p> <p>②所在地：(〒 —)</p> <p>③場所の内容： 柔道場 (広さ： 畳) ・ 体育館 その他 ()</p> <p>④畳の硬さについて： どちらかといえば硬い ・ 普通 ・ どちらかといえば軟らかい</p> <p>⑤床の緩衝状態： バネによる緩衝 バネ以外による緩衝 (具体的に) 特になし (具体的に)</p> <p>⑥投込マット (投込の場合) 有 ・ 無</p>									
<p>4. 発生時の状況 (該当に○印) *必要に応じて別紙 資料を添付のこと</p>	<p>①練習の態様： 準備運動 ・ 補強運動 ・ 打込 ・ 投込 ・ 乱取 ・ 試合 その他 ()</p> <p>②発生時の状況 技名 (かけた・かけられた・その他「 」) 負傷部位：後頭部・側頭部・前頭部・頭頂部・頸部・その他 () 受傷までの具体的説明 (記載事項：技名、受けか取りか等)</p>									

